

アンケート調査集計表

方部名	市町村名	1 洪水・土砂災害ハザードマップ等防災計画の住民への周知(認知度向上)の徹底に関する取組	2 情報伝達手法の改善に関する取組
いわき	いわき市	<p>1 平成30年度の実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年7月に、久之浜第一小学校において出前講座(大雨・豪雨による土砂災害から身を守るために)を開催し、改めて周知を図った。【参加者:24名】 ・平成30年9月にいわき市内13地区において、ハザードマップ(各種防災計画含む)を活用したいわき市総合防災訓練を実施。 ・平成30年10月に、社会福祉法人向けに出前講座(大雨・豪雨による土砂災害から身を守るために)を開催し、改めて周知を図った。【参加者:50名】 ・平成30年10月に、平第三小学校において出前講座(河川洪水から我が身を守るために)を開催し、改めて周知を図った。【参加者:180名】 ・平成30年10月に、仁井田川流域の四倉地区について、河川洪水ハザードマップの作成に着手した。 ・平成31年1月に、平地区自主防災会向けに出前講座(大雨・豪雨による土砂災害から身を守るために)を開催し、改めて周知を図った。【参加者:98名】 ・小川地区における河川洪水ハザードマップの見直しを行い、平成31年2月に地元へ配布する予定。 <p>2 令和元年度の実施予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度に県において、指定する夏井川水系好間川、新川及び鮫川水系について、県の浸水想定区域指定後、河川洪水ハザードマップの作成に着手する ・令和元年度、いわき市内13地区で、ハザードマップ(各種防災計画含む)を活用した総合防災訓練(県・市合同開催)を実施予定。 ・令和元年度は、仁井田川流域の四倉地区の河川洪水ハザードマップについて、地元へ配布する予定。 	<p>1. 本市が活用している住民向けの情報伝達手段について(水害・土砂災害)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災メールの配信(登録制)・・・H30年12月末登録数 17,207件 ・緊急速報メールの配信 ・戸別受信機(防災行政無線)・・・公共施設・避難所等に配備(250基) ・同報系防災行政無線拡声子局・・・沿岸部127基、内陸部2基 ・FM電話割込み放送 ・市ホームページ ・SNS(ツイッター、フェイスブック) ・テレビのデータ放送(Lアラート) ・防災行政無線電話応答サービス <p>2. 平成30年度の改善の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「広報いわき」への防災メール登録案内の掲載(H30.8月号) ・防災メール登録案内チラシの成人式での配布 ・防災訓練や出前講座等あらゆる機会を通じた防災メール登録の広報活動 <p>3. 令和元年度の改善の取り組み予定について</p> <p>平成30年度と同様に防災メール登録促進の取り組みを継続する予定</p>